

# くずまき 議会だより

No.  
155

平成23年7月20日発行



ぼく、わたしの夢かなえて… (小屋瀬保育園七夕まつり)

特集・議会報告会での要望は？	2P	委員会県外視察レポート	9P
定例会・臨時会で決まったこと	5P	全国町村議会議長会から義援金30万円	
一般質問 ～3議員が町政を問う～	6P	ドイツで葛巻神楽を公演	10P





# 特集

## 議会報告会での要望はどようになったの？



議会の様子を11チャンネルで見れます

輝くふるさと常任委員会では平成20年11月から22年7月まで、全自治会を対象に「議会報告会」を開催しました。報告会は、27会場で開かれ446人の皆さんと意見交換を行いました。

委員会では、皆さんから出された延べ348件の意見・要望等は町当局へ伝え、町の考え方や回答を求めるとともに、要望箇所の調査を行いました。

ここでは皆さんからいただいた要望等に対する町の対応と実施状況についてお知らせします。

### 町の情報をテレビで

#### ◆議会を放送して

4月1日の「くずまきテレビ」開局に伴い、5月26日に開

#### テレビ楽しみに

鹿糠 キヨミさん  
(茶屋場)



議場に行ったことはありませんが、テレビで見た議会は、町長も議員も堂々と発言していて感心しました。身近な人たちをテレビで見ることができ、毎日楽しみです。

かれた町議会第30回臨時会から、生放送と録画で放送しています。

#### ◆視聴料金を安く

視聴料金は、月額525円(年額6300円)と決定し、8月分から納めることとなります。

なお、65歳以上の高齢者世帯などは、視聴料金が半額になる場合があります。

詳しくは、岩手ケーブルテレビジョン葛巻センター(田子・旧日本舗道事務所) 電話6817101へ問い合わせください。



## 若者、高齢者の雇用

町では22年度から、若者や高齢者を雇用した事業主に奨励金を交付しています。

### ◆若者雇用

30歳未満の若者1人につき、月額5万円の奨励金を1年間交付します。

22年度は、7事業所で13人の雇用が創出されました。

### ◆高齢者雇用

満60歳以上が対象で、労働1時間につき、1年目は県最低賃金の3分の2(420円程度)、

2年目は県最低賃金の3分の1(210円程度)の奨励金を交付します。

22年度は、11事業所で31人が雇用されました。



事業を活用し、ほうれん草の袋詰などで雇用促進

## 通学バスの利用拡大

親が喜んでます

大峠 照君

(葛高2年・五日市)



1年生の時は自転車やJRバス、親の送迎などで通学。野球部のため帰りは自家用車ですが、4月から登校だけでも通学バスを利用でき、親が一番喜んでます。

町では今年4月から、高校生が通学バスを利用できる範囲を拡大しました。  
これにより、通学距離が原則6キロ以上の生徒は、誰でも利用することができま

## 道路関係の要望に対する実施内容一覧

要望内容	実施内容
町道小屋瀬塚森線に待避所を	待避所設置から道路の拡幅に計画変更し、年度内に完了予定
内ヶ沢の道路が災害で傷んでいる	年度内に完了予定
南信濃物付近から民家までの道路整備を	年度内に簡易舗装で対応する予定
鰻沢バス停から上る道路の整備と除雪を	一部を拡幅し、今年度から除雪予定
上外川トンネルが暗く、冬場は凍結	照明を増設、危険周知の看板を設置
融雪溝のふたと道路に段差があり危険	岩手土木センターで修繕済み

道路や側溝などの整備に関する要望内容と対応については、次表のとおりです。

## 道路や側溝の整備

なお、今年度に工事が予定されている箇所については、輝くふるさと常任委員会で現地の視察し、取りまとめた意見は町当局に伝えていきます。



速やかな事業の実施が望まれる町道佐ノ渡線(内ヶ沢)



施設関係の要望に対する実施内容一覧

要 望 内 容	実 施 内 容
各センターのトイレを水洗化して	22年度に11地区センターを水洗化済み
豆腐加工室と加工機械の修繕を	加工室は修繕済み。加工機械も町から10万円の助成を受け整備済み
吉ヶ沢小の屋根の塗装を	体育館は22年度実施済み、校舎は23年度に実施予定
五日市に新しい屯所の設置を	22年度に設置済み
指定した色で旧小田小体育館等の塗装を	地域の要望に沿って22年度に実施済み
旧土谷川分校の校庭脇カラムツの伐採を	22年度に伐採済み
明神穴入口付近にトイレを設置して	22年度に設置済み
各小中学校にAEDを設置して	21年度に全校へ設置済み

◆地区センター等  
施設等の維持管理や修繕などに関する内容と対応は、次表のとおりです。

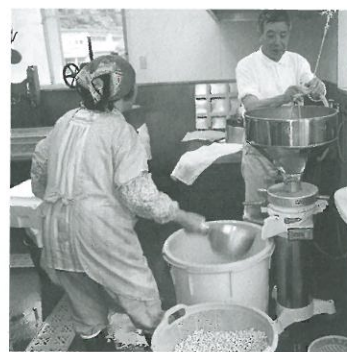
施設等の維持管理

継 続 調 査

議会報告会で皆さんから出された要望の中で、町当局から「県へ連絡します」や「検討します」と回答された内容は次表のとおりです。

継続して調査を行う要望内容一覧

県 関 係	①守山乳業付近の歩道延長と除雪対策、電柱の撤去を
	②国道の下でU字溝が詰まるので改善を
	③グレーチングに車輪が挟まり危険、改善を
	④歩道分として拡幅・舗装した道路が沈下、補修を
	⑤堤防付近の整備や刈り払いなどへの助成を
	⑥災害復旧で設置した鉄板の橋に手すりの設置を
	⑦ブロック積み河川へのハシゴ等の設置を
	⑧タツアの沢から土砂が流失するので整備を
	⑨堤防の傾斜がきつく、危険なため整地を
町	⑩西里公民館上流の大雨災害で崩れた田の修復を
	⑪町道岩脇線の整備を
	⑫上外川トンネル付近側溝の修繕を
	⑬上外川トンネル内の冬場の凍結解消を
	⑭町道に側溝や柵（ます）の設置を
	⑮西里水路の延長と下流が詰まるので対策を
	⑯前回の災害復旧で設置してもらった水門の修繕を
	⑰葛巻中学校脇の側溝に水が流れ込むように
	⑱町道下町田子線に側溝の整備を
	⑲垂柳橋の親柱の亀裂と付近の町道の修繕を
関 係	⑳町道が高く、雨が降ると敷地に溜まるので改善を
	㉑坂待屋橋付近の砂利道を舗装に
	㉒町道中崎線と江川保育園線の接続を
	㉓林道打田内線の舗装や側溝の整備を
	㉔シッペナイ沢沿いの道路整備を
	㉕野中の川向かいに浦子内に抜ける道路整備を
	㉖車門ふるさと会館付近の町道の修繕を
	㉗除雪機を町が購入し、自治会へ貸し出しを
	㉘アナログテレビ放送施設の撤去等への支援を
	㉙個人住宅でのLED切り替えに対する助成を
	㉚少年団、青年団への補助増額と指導者の育成を



新しくなった機械で豆腐作りに励む田野地区の皆さん

◆協働のまちづくり補助金  
前里地区集会所の整備や寺田公民館の修繕、町道から小田林業研修センターまでの道路舗装と側溝の整備は、協働のまちづくり補助金を活用し、22年度にそれぞれの自治会が整備を行いました。  
常任委員会では、完了した事業についての調査も、併せて行っています。



協働のまちづくり補助金を活用し、整備された前里地区集会所



# 6月定例会・臨時会で決まったこと

6月定例会は9日から13日まで、5日間の会期で開かれました。初日に一般会計補正予算案など5議案が提案され、審議は輝くふるさと常任委員会に付託されました。

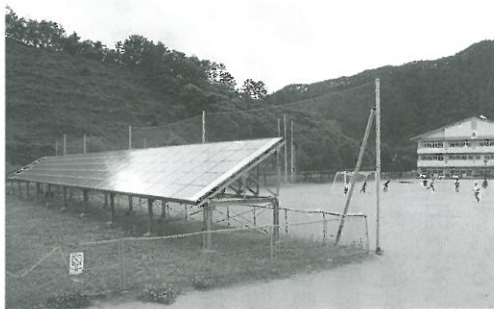
続いて行われた一般質問では3議員が登壇し、災害時の停電対策や岩手国体「中止発言」への町の対応、町道整備、エネルギー政策などについて、町の考えをたどりました。

初日に付託された議案は、10日の輝くふるさと常任委員会で審議を行い、13日の本会議ですべての議案が全会一致で原案どおり可決されました。

## 補正予算

一般会計に4億530万円を追加し、総額を51億3544万円としました。

主な支出の内容は、町村会を通じた被災町村への支援として200万円、停電時でも電力を確保できるように25カ所の集会所に太陽光パネルと蓄電池の設置などに1億6563万円、公共施設整備基金積立金2億円などです。



消費電力の一部を賄い、余った電力は売電している葛巻中学校の太陽光発電施設

## 条例改正

東日本大震災の発生に伴う条例改正で、それぞれ6月14日から施行されます。

## 町税条例の一部改正

雑損控除(注)額等と固定資産税、住宅ローンの適用期限の特例が定められました。

### (注) 雑損控除

自然災害や盗難などにより、住宅や家財に損害があった場合、所得税や住民税を計算するとき、所得から差し引くことができる。

## 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正

災害弔慰金を支給する遺族の順位について、同居者を優先する改正を行いました。

また、改正後の災害弔慰金と災害救援資金の限度額等については、次表のとおりです。

災害弔慰金(死亡した者1人当たり)	500万円
生計を主に維持	250万円
その他の場合	
災害障害見舞金(障害者1人当たり)	250万円
生計を主に維持	125万円
その他の場合	
災害援護資金(1世帯当たり)	
○世帯主の負傷あり	
家財が3分の1以上の損害	150万円
家財が損害し住宅は損害なし	250万円
住宅半壊270万円+残存部分取り壊し	80万円
住宅全壊	350万円
○世帯主の負傷なし	
住宅半壊170万円+残存部分取り壊し	80万円
住宅全壊250万円+残存部分取り壊し	100万円
住宅全体が消滅・流失	350万円

## 財産取得

- ◆第15分団消防ポンプ自動車
- 契約金額 1869万円
- 契約相手 互光商事(株)

## 臨時会

5月26日

第30回臨時会は、町税条例の一部改正と国民健康保険事業特別会計に589万円を追加し、総額1億1899万円とする補正予算の2議案について、審議を行い、全会一致で原案どおり可決しました。

## 町税条例の一部改正

国民健康保険税の課税限度額が次のとおり改正され、4月1日から施行されます。

○国民健康保険基礎課税額	改正前	50万円
	改正後	51万円
○後期高齢者支援金等課税額	改正前	13万円
	改正後	14万円
○介護納付金課税額	改正前	10万円
	改正後	12万円





しばた いさお  
**柴田 勇雄** 議員

## 問 避難所等への発電設備の整備方策は 答 太陽光発電システムと蓄電池を整備

**議員** 災害対応関連について、

- ①東日本大震災、大雪災害時の停電による町民生活への影響は。
- ②災害停電時における町民への災害情報の提供状況は。
- ③葛巻病院、地域情報通信施設等の町有施設、避難所等への災害時非常用自家発電設備の整備方策は。
- ④畜産農家等、町民が自家発電を設備した場合の助成措置は。

**町長** ①影響は衣食住全般に及び、照明や暖房器具、調理機器などの家電製品全般が、全く使用できなかった状況です。

②今回の大雪と地震の際には、全職員を招集し、町内全域の情報収集と速やかな情報提供を行いました。

また、大雪の際は屋外告知放送による情報提供でしたが、3月の地震の際は「くずまきテレビ」で文字放送による提供を行

い、4月開局後の地震の際はデ  
ータ放送も併せた情報を提供し  
ています。

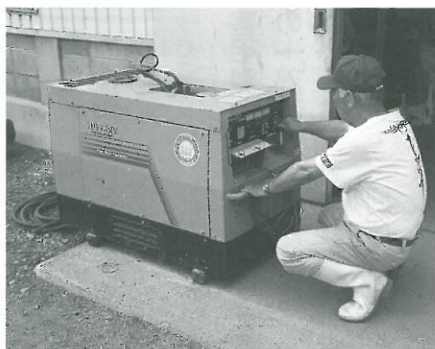
③葛巻病院では非常用発電装置により非常用照明、水道等は確保できましたが、容量に限度があり暖房や給湯、検査機器などは稼働できないため、通常の診療業務は難しい状況です。施設、装置とも老朽化していることから、将来の病院整備と併せて検討します。

地域情報通信施設の機能維持は、相当な費用負担と技術的な課題など、すぐには対応できない状況にあります。

町有施設、避難所等については今回の停電状況を踏まえ、避難所になっている集会施設に太陽光発電システムと蓄電池を整備し、災害などの停電時に照明やテレビ視聴、暖房などを使用できるような電力、電源の確保

と売電により施設運営費の負担軽減にも寄与すると考えています。

④大雪や地震に起因する停電被害を踏まえ、「停電時の搾乳及び発電機に関するアンケート調査」を実施しました。助成措置については、調査結果を踏まえて検討します。



停電時の搾乳等に威力を発揮した発電機

## 問 岩手国体中止発言 に対し町の対応は

震災の影響で岩手国体の中止

が報道されているが町としての対応は。

**答** 被災地の復旧復興状況を踏まえ判断

国体の開催について、今後の被災地の状況などを踏まえて、答えを出しても良いと考えています。

## 問 町道下町田子線と町裏線結合整備を

町道下町田子線の葛巻病院入り口から町裏線の葛巻駐在所横までの約100mは、必ず国道に出なければならず、直結した改良整備をする考えは。

**答** 車道としての整備現時点で想定せず

歩行者や自転車の通行は可能であり、車道としての結合を現時点では想定していません。



# 一般質問



やまぎし み  
**山岸はる美** 議員

**議員** 東日本大震災による停電の町内産業への影響は。

また、停電時の搾乳及び発電機に関するアンケート調査を実施したが、結果とデータを今後どのように反映していくのか。

**町長** タカナシ乳業(株)、守山乳業(株)、南信漬物(株)は停電の度に製造ラインが停止し、復旧後も燃料確保の関係から製品の輸送に支障を来したようです。

また、セクター3社では宿泊や歓送迎会等の自粛やキャンセルなどにより大幅に売り上げが減少しています。

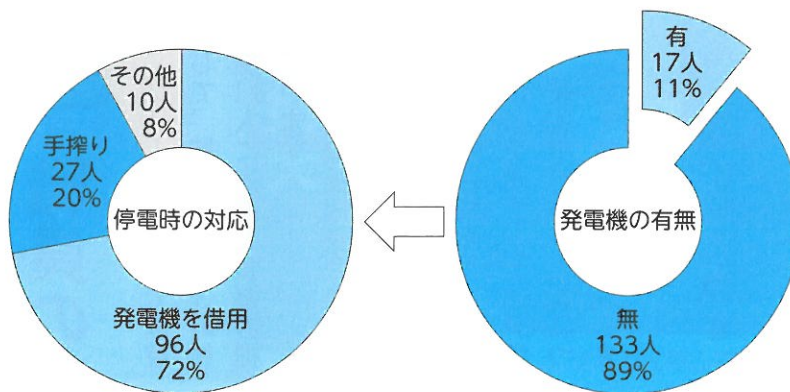
アンケート結果から、8割以上の農家が行政による支援を望んでおり、認定農業者等で組織する生産組合や農家が共同利用のために購入する場合など、助成の対象や金額を検討する考えです。

## 停電時の搾乳及び発電機に関するアンケート調査結果

**問**

**エネルギー政策に対する町の考えは**

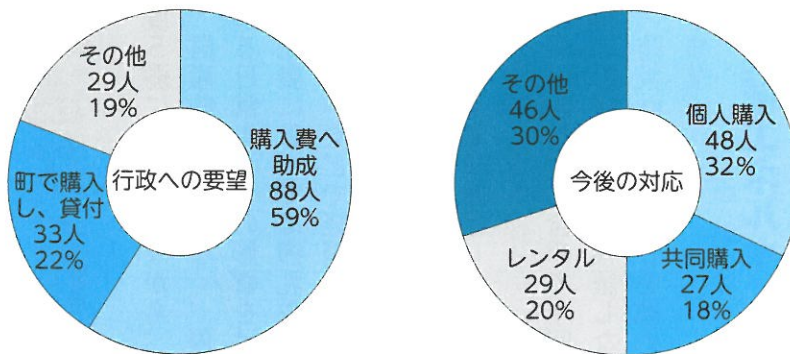
原子力発電のリスクの大きさ



**答**

**問**

**発電機に関するアンケートの結果とデータの活用を搾乳農家の要望をもとに、前向きに支援を検討**



から、国では自然エネルギーに力を入れようとしている。町には風力、太陽光発電等再生可能エネルギーが埋もれてお

り、発電事業者と連携し、国に働きかける考えは。また、停電時には発電基地から町内に送電できるシステム構築の考えは。

**答** **国等の動向を注視 仕組みづくり要望**

本町のエネルギー自給率は80%、電力においては町内の消費電力の約160%が町内で生産されています。

町には様々な新エネルギーが多く存在することから、今後とも国や関係機関、事業者に対して開発利用や施設の新規導入を要望していく考えです。

また、独自の送電システムの構築は現行制度では難しく、国では電力事業の改革が検討されており、動向を注視しながら仕組みづくりを要望していきます。





はしば せいこう  
**橋場 清廣** 議員

## 問

# 被災地への今後の支援は

## 答

# 職員の継続派遣など積極的に実施

**議員** 東日本巨大地震について、  
①被災地への義援活動の実績と今後の支援は。

②震災後の停電被害の検証と課題は。

**町長** ①震災から現在まで、職員を久慈市や山田町、大槌町に派遣し、延べ188人となっており、5月からは、野田村へ職員1人を長期派遣しています。

このほか、救援物資はタカナシ乳業(株)と(社)葛巻町畜産開発公社から牛乳、葛巻高原食品加工(株)からジュースを提供いただき、炊き出し支援とともに被災市町村にお届けしたほか、森林組合からは避難所で使う薪や木炭を提供いただき、山田町へお届けしています。

一方、町民の皆さんからお寄せいただいた衣類や生活物資などは、岩泉町、田野畑村、野田村、山田町にお届けしました。



野田村でボランティア活動に汗を流す葛巻町民

また、グリーンテージでは避難所として、被災された3町村の5家族11人に宿泊と食事の提供をしています。

なお、社会福祉協議会に寄せられた義援金は、5月末現在で630万円となっています。

今後も町職員の派遣とともに、町民公募によるボランティア活動など、被災市町村の支援につながることを積極的に実施します。

②震度5弱に見舞われながら、人的、財産的な被害はなく、停電による日常生活への影響をはじめ、酪農においては搾乳や出荷ができないなどで経済的な被害がありました。

また、工場などは、電源が確保できず操業停止に追い込まれました。

なお、停電対策も含めて今回の地震の影響と対応を検証しながら、防災計画の見直しを進めていきます。

## 問

### 地域エネルギーの今後の推進方策は

葛巻町地域エネルギー利活用調査検討委員会からの答申内容と今後の推進方策は。

## 答

### 町民が実感できるプロジェクト推進

答申の内容は次のとおりです。

- ① 既存木質バイオマスガス化熱電供給システムの活用
  - ② 地域集落における木質バイオマスの熱利用
  - ③ 住宅・建物での地域エネルギーの活用
  - ④ 葛巻小学校の温水プール
  - ⑤ 公共施設等における地域エネルギーを活用する熱供給ステーション
  - ⑥ 市街地等の道路融雪
  - ⑦ 葛巻町におけるCO<sub>2</sub>クレジット(注)類の活用
- 注(注)類の活用  
についての7項目の重点プロジェクトの提案がありました。
- 町民が実感できる取り組みを行いながら、プロジェクトが実現できるよう努めます。

### (注) CO<sub>2</sub> クレジット

規制の対象外である企業が自主的にCO<sub>2</sub>削減を実施した際に、その削減量を国が認証し、クレジットとして販売できる制度。



# 地産地消の地域おこしと防災などを学ぶ

## 輝くふるさと常任委員会県外研修

輝くふるさと常任委員会の県外研修は4月21日と22日、鈴木町長も同行し、山形県の尾花沢市と大石田町を訪問しました。

「雪とスイカと花笠のまち」尾花沢市では集成材を活用した施設整備を視察、大石田町では15軒のそば屋が「そば街道」を形成し、環境省の「かおり風景100選」にも選定されるなど、そばによる地域おこしについて研修しました。

### ◆4月21日(木)

#### 〔尾花沢市立福原中学校・よつば保育園〕

地産地消の観点から、公共施設などは地元の木材をできる限



屋根の傾斜を生かし、のびのびとした環境に配慮したよつば保育園

り使用して建設されています。

福原中学校の校舎は、ワークスペースや学習室を確保し、将来的な統合などにも対応できる設計でした。

また、5つの保育園を統合してできたよつば保育園は、子どもの視点とサービスを利用する住民に配慮した建物となりました。

### ◆鈴木忠市議会議長

大正浪漫の風情あふれる三層、四層の木造旅館が軒を連ね、年間30万人以上の観光客が訪れる尾花沢市の奥座敷「銀山温泉」も、東日本大震災以降は原発事故の風評被害による外国人観光客の激減と自粛などにより、閑散としています。

銀山温泉で働いている人たちも、「3月11日の震災から今日

まで、旅館から出勤の要請が1日ありません」と話していました。

### ◆4月22日(金)

#### 〔そばで地域おこし／自然発生的に発展〕

元々は家庭で来客や祝い事などのもてなしで振る舞われていたものを、地域の達人たちが次々とそば屋を開業。人口1万人に対して5軒が採算ラインと言われるそば屋が、今年4月1日現在で人口8318人の町に15軒もあり、そば街道ができるまでに発展したとのことでした。



大石田町議会を訪問し、お互いの地域おこしについて活発な意見が交わされました

また、平成13年には環境省の「かおり風景100選」に選定され、テレビで放送されるなど、今では年間20万人が来町。

そばの品種は「来迎寺」という在来品種で、シルバー人材センターを活用し、種子を手で選別してオリジナル品種の確保に努力していました。

そば屋とそば道楽の会のボランティアにより、例年10月下旬に開催される「新そばまつり」には、2軒、3軒とそば屋のハシゴをする位のそば好きが、県内外から大勢詰め掛けています。

### ◆阿部孝義大石田町長

地震の被害は、東日本大震災よりも4月7日の大余震の影響が大きく、町の北部では橋が横にずれ、住宅の柱が根元で折れたり、ガラスや食器などが壊れたものの、幸いケガ人などの被害は、消防団から報告されませんでした。

特に、震災などが発生した場合、まずは消防団員が住民一人ひとりの安否を確認し、30分から40分で町内全域の状況を報告し、それから防災活動を始めると話していました。



# トピックス

## ドイツで葛巻神楽を公演



練習に励む葛巻高・郷土芸能部

葛巻高校の郷土芸能部は、ドイツ連邦共和国のラインラント・プファルツ州コブレンツ市で開催される「ブندスガーデンショー2011」に招待され8月8日、葛巻神楽の公演を行う予定です。

また、本町は同州バート・デュルクハイム市との交流（葛巻高原食品加工（株）が主催するワインの旅）が今年で10年目を迎えることから、同市でも友好公演を行うとともに、高校生はホームステイの体験も併せて行うことになっています。

訪問団は、觸澤義美副町長を団長に葛巻高校の郷土芸能部、葛巻神楽保存会の方々など総勢15人で、8月4日から13日までの10日間の日程で渡航する予定です。

なお、町議会からは山岸はる美議員が副団長として訪問団に参加します。

## 全国町村議長会から

### 義援金、町に30万円

3月11日に発生した東日本大震災に伴い、全国の町村議会議長から全国町村議会議長会へ寄せられた義援金の配分が行われ、本町には30万円が贈られました。義援金は、災害救助法の適用を受けた岩手、宮城、福島、茨城の各県の計98町村に対し、震災の被害程度に応じ、町村議会

を通じて各町村に配分されたもので、5月12日に中崎和久議会議長から鈴木重男町長へ手渡しました。町では、震災以降、被災された沿岸の町村へ職員を派遣するなど支援を継続しており、その経費などに役立てることとしています。



鈴木町長（右）へ義援金を手渡す中崎議長

## 情報公開

議長が議会の対外的活動をするための経費が議長交際費です。

各団体の總會、式典の会費が主なものです。

4月 18,600円（故上原清善氏葬儀ほか）

5月 34,000円（町観光協会通常總會ほか）

6月 12,000円（高砂荘運動会ほか）

## 編集後記

中尊寺や毛越寺などに代表される「平泉の文化遺産」が、東北地方初となるユネスコの世界文化遺産に登録され、東日本大震災で大きな被害を受けた本県の復興に向けた希望の光となっています。

一方で、今年の夏は原発事故の影響により、「節電」が全国的な話題となっていますが、こまめな水分補給を行うなど、体調管理には十分気を付けましょう。

広報発行常任委員

鳩岡 明男